



「トピックス」ケアラーってなに？
連載 山梨県人 障害を特別なものにしらない社会に

巻頭特集

#デジサポ！

DX導入で中小企業支援 大学生が若い感性で伴走

中小企業の悩みを、大学生がデジタルの力とアイデアで解決する——。
そんな仕組みを生み出す
DX推進支援プラットフォーム、
「デジサポ！やまなし」が本格的にスタートしました。

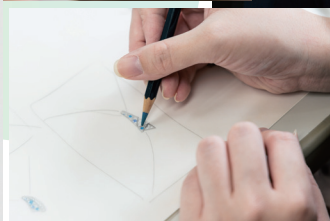
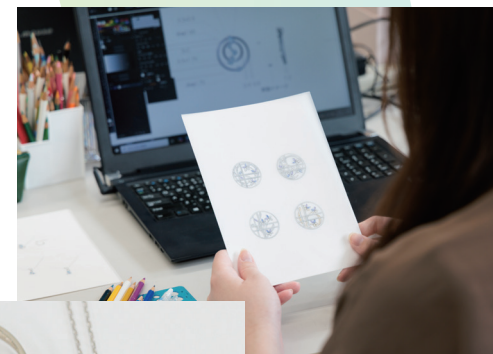


困り事

写真とかは
あるんだけど
効率的にリクルート
できないかな??



ジュエリーの企画デザインから製造出荷まで社内一貫生産を行う「株式会社石友」には、さまざまな工程や職種に携わる約70人の従業員がいます。意欲ある若手社員の採用が課題でした。



「SNSを活用したいけど、社内に詳しい人がいない」
「ホームページを作りたいけど、誰に頼めばいいのかわからない」
——そんな「ちょっとしたDX（デジタルトランスフォーメーション）」の悩みを、山梨県の大学生たちが力強くサポートしています。

甲府市で50年以上にわたりジュエリーの製造・販売を行っている「株式会社石友」。職人技と洗練されたデザインで顧客の信頼を築いてきた老舗企業です。
「若手採用をもっと強化したい」

「巻頭特集」

#デジサポに



お任せ！

担当した大学生の一人、さっちゃん（山梨大学4年）は「情報を整理し、『一番伝えたいこと』を視覚的に表現する」ことに注力したそうです。ジュエリーを扱う会社の「上品な雰囲気」を大切に、魅力を引き立てるデザインを意識しました。また、もともとのサイトには載っていませんでしたが、「手厚いと感じた福利厚生」の情報も盛り込みました。こうした着眼点は、さっちゃん自身が就職活動を経験し、多くの企業のリクルートサイトを目にしてきたからこそ気付いた点です。

完成したリクルートサイトについて、株式会社石友の宮沢知明さんは「応募者数が減りつつある現状を打破できたら」と期待を寄せました。

解決策

素敵な
リクルートサイトを
提案してもらいました！



さっちゃんら大学生の「DXリーダー」が、会社側の要望を聞きながら2カ月かけて制作したリクルートサイトの一部画像です。ブランドイメージを大事にしたいと、レイアウトやフォント、色合いなどを何度も調整したそうです。

というお悩みに、大学生DXリーダーたちが取り組んだのがリクルートサイトの再編でした。これまでは、自社サイト内に掲載していた「採用に関する情報」が埋もれ、すぐにたどり着けない状況でした。そこで、独立したリクルートサイトを新たに制作することにしたのです。

Case 2

甲斐市にある個人経営店「爪の美容院 Cuore」も、大学生の協力を得てDXの大きな一歩を踏み出したお店の一つ。地域には珍



DX支援の成果をプレゼンテーションしたDXリーダーたちとともにポーズを決める長崎知事



「デジサポ！やまなし」は、山梨県とライフイズテック株式会社（東京都港区）が連携して推進している中小企業向けのDX推進支援プラットフォーム。約100時間に及ぶ専門研修を受けた「大学生DXリーダー」たちが、企業の現場に入り込み、ウェブサイトやパンフレットの制作、SNS活用など、経営課題の解決に向けて伴走

関わる企業の魅力を 学生たちが再発見

します。大学生ならではの感性や視点、思いがけない気付きや新しい風をもたらします。デジタルスキルを身に付けた大学生が企業ごとの事情に寄り添い、経営に役立つ施策と一緒に考え実行していくのが特徴です。

今回紹介したケースはほんの一例に過ぎません。すでに県内のいくつかの中小企業で大学生DXリーダーたちが活躍しており、支援を受けた企業は「相談して良かった」と口をそろえます。また、大学生たちも活動を通して、貴重な学びややりがいを得ているようです。

支援内容は、いわば「身の丈に合ったDX」。いきなり大規模なシステムを導入するのではなく、「今ある魅力をウェブサイトにSNSでどう伝えるか」「今の業務を少しでもラクにするには？」といった現場目線の提案が中心です。

まずは気軽に
相談してください！

デジサポ！
やまなしの
ホームページ



大学生DXリーダーからの メッセージ

大学生DXリーダーが支援するのは、中小企業の“ちょっとしたDX”です。例えば『ホームページを作りたい』『リーフレットを作りたい』『SNSを活用したい』『ネット予約を受けられるようにしたい』など、どんなことでも構いません。お困りの事を何でも相談してくだされば、絶対に今より良くなるはず。ぜひ『デジサポ！やまなし』に、お気軽にご相談ください！

大学生DXリーダー
あしゅりーさん(左) &
さっちさん(右)

【問い合わせ先】 デジサポ！やまなし運営事務局 TEL 0120-551-625(平日10:00～17:00)
MAIL info@dxplatform-yamanashi.jp



爪のケアを専門とするクオーレは、店主の深澤智子さんの明るい性格もウリの一つです。



しいドイツ式フットケア専門店、2021年の開店以来、老若男女に愛されるお店ですが、店主の深澤智子さんにはある悩みがありました。

「大手予約サイトの掲載料がどんどん値上がりしていく中で、集客にかかるコストを抑えたいなど、でも、どうしたらいいかわからなかったんです」

そんなときに「デジサポ！やまなし」の存在を知り、相談してみること。大学生DXリーダーのあしゅりーさん（山梨大学3年）と一緒に、集客コストの削減、お

店の認知度向上に取り組みました。その施策の一つが、SNSによる発信の強化。Instagramのストーリー機能や、メディアプラットフォーム「note」を活用して、お店のことやフットケアについて積極的に発信していくことにしました。あしゅりーさんは「Instagramの活用方法をアドバイスしたら、深澤さんが翌日からすぐに実践してくださり、『Instagram経由でお客様が予約してくれたよ』と報告してくれたんです。うれしかったし、やりがいを感じました」と振り返ります。

また、大学生たちはお店のリーフレットも刷新しました。施術の様子を写真で分かりやすく説明しながら、深澤さんの似顔絵なども添え、温かみのあるデザインに。「もともとのリーフレットより分かりやすくなりました。若い人の発想は本当にすごいですね。大学生であつてもまさにプロフェッショナルだったので、安心して任せられました」と深澤さん。大学生DXリーダーたちの働きは期待以上だったようです。

「プログラミングって楽しい！」 次世代のDX人材を育成



大学生DXリーダーは、中高生に向けたデジタルスキル体験プログラムなどを通して、次世代のDX人材の育成にも大きく貢献しています。さっちさんいわく「人に教えられるか不安でしたが、実際に教えてみると楽しんでくれて、自分にもスキルが身に付いたんだと実感できました」。

昨春秋、デジタルスキルを活用した地域課題解決のワークショップに参加した中学生のあつきさんは、「自分の意見を伝え、相手の意見も取り入れながら、チームで協力して何かを作り上げることができました。学校で学ぶ以上のことを経験できて楽しかったです」と感想を述べます。参加した中高生の中から、将来の大学生DXリーダーが生まれるかもしれません！



ケアラーってなに？

「介護離職ゼロ社会」の実現に向けて

家族の介護や看護は誰もが直面する問題です。自分のライフプランを諦めることなく、家族を支えることができる社会にしたい。県はケアラーへの支援を充実させるため、さまざまな施策に取り組んでいます。



あなたも
ケアラー
かもしれない

「家族の介護や看護が必要になったとき、自分しかお世話する人がいない」
こうしたケアラーの多くは「家族だから当たり前」と考えて問題を一人で抱え込みがちです。身体的、精神的さらに経済的な負担は重く、ケアのために仕事を辞める、学業を諦めるなど、自分のライフプランを犠牲にしてしまうことも少なくありません。
高齢者や障害者の介護、難病を持つ人の看護、病児や障害児の療育、依存症やひきこもりの家族・知人への気遣いなど、ケアラーにはさまざまなケースがあります。まずは自分や周りの人が「ケアラーかもしれない」という意識を持って、理解を深めることが大切です。



「2025年問題」がやってきた

2025年、団塊の世代全てが75歳以上の後期高齢者となり、今後超高齢化社会が加速していきます。県民誰もがケアラーになる可能性があることから、先を見据えた支援制度を始めています。
働きながら介護・看護をする“ビジネスケアラー”や、子育てと介護を同時に行う“ダブルケアラー”など、いつ自分がそうした状況になってもおかしくありません。いざという時のために、日頃から家族と将来的な介護について話し合い、お住まいの地域で介護相談ができる「地域包括支援センター」を活用してください。

ケアラーはこんな人たちです

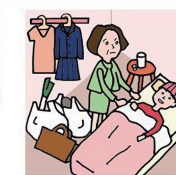
©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga



障害のある子どもの子育て・障害のある人の介護をしている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と病気の子どもの看護でほかに何もできない



仕事を辞めてひとり親の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族をケアしている



障害や病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている

こころやかからだに不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことです。

やまなしケアラー支援ポータルサイト OPEN!

忙しいケアラーの皆さんに素早く情報を届けるポータルサイトができました。AIチャットボット機能が搭載されています。案内に従ってお住まいの市町村やケアラーに関する悩みを選択すると「どんな支援があるのか」、「どの窓口で相談すればいいのか」などが簡単に分かります。



例えばこんな時…

1

突然親の介護が必要になってしまった。いろんな支援窓口があるけれど、どこに相談すればいいのかわからない。



2

家族のケアを一人で続けていて、孤独や不安を感じている。同じような状況の人たちが集まって悩みを話し合える場所がほしい。

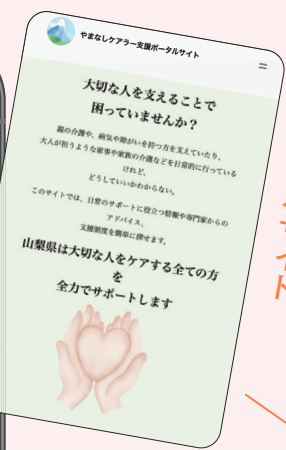
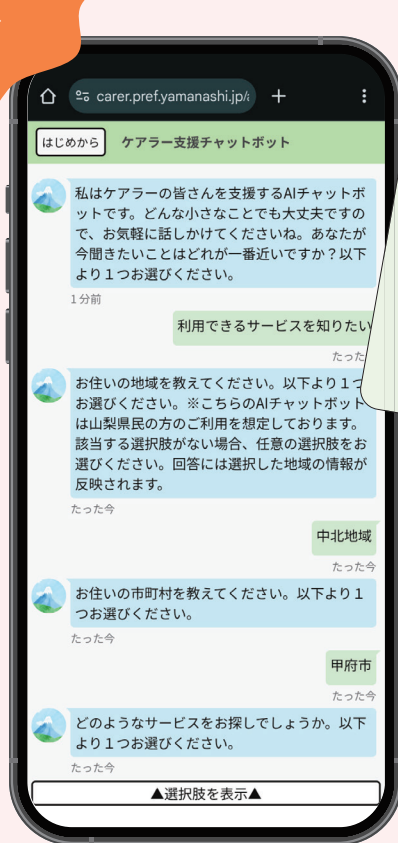


チャットボットで気軽に相談！

そんな状況に陥ったら、ポータルサイトからケアラー支援チャットボットを起動してください。右の写真のような画面が現れて、あなたが相談したいことを入力すれば情報が得られます。



ポータルサイトはこちら

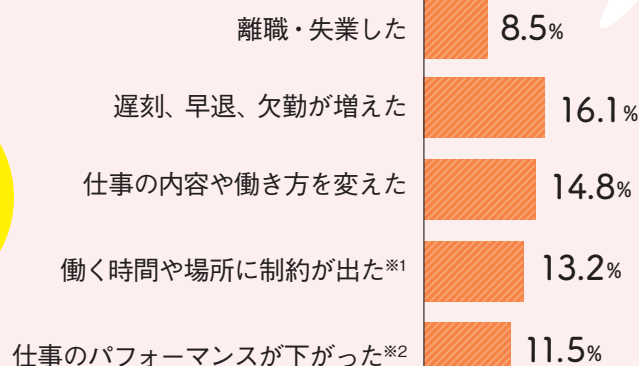


やまなしケアラー支援ポータルサイト



ケアラー実態調査 結果の概要

ケアによる 仕事への 影響



※1 残業、出張ができなくなった等
※2 業務に集中できないこと等

ケアラーの
約1割が
離職や失業した



職場環境が
原因で
離職した人が
4割



離職
理由



ケアラーは
相談相手を求め
ている



〔ケアラーにとって必要な支援〕



ケアラーが
求める
支援

〔ケアを受けている方のための支援〕



もっと知りたい
やまなし in depth

調査から浮かんた
深刻な実態

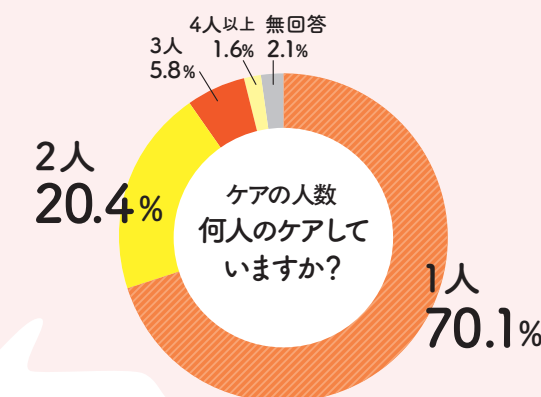
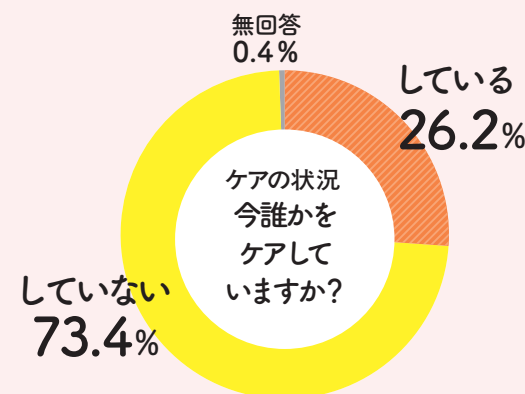
ケアラーの負担や企業の取り組み状況を把握するため、2025年1月に県はケアラーの実態調査を実施しました。県民・支援機関・企業の3カテゴリーを対象に調査。ケアラーが抱える問題を掘り起こすとともに、何が支援の障壁になっているかを明らかにして効果的な施策につなげることを目的としました。



調査の結果、「家族のケアをしている」が26.2%となり、回答者の4人に1人がケアラーに該当しています。さらにその約3割が2人以上を同時にケアしている状況にあることが明らかになりました。ケアを受けている年代については「70代」以上が全体の66.7%を占め、高齢などによる心身機能の低下や認知症が主な要因となっています。ケアによる仕事への影響も深刻です。「遅刻・早退・欠勤の増加」や「パフォーマンス低下」など通常の業務に支障が出ることで、回答したケアラーの約1割が離職や失

業に追い込まれています。離職理由は「業務上、仕事と介護の両立が難しい職場だったため」が最も多く、企業側の介護休業・休暇への理解が浸透していないという問題が見えてきました。ケアラーが求めている支援としては「相談できる人や場所」がほしいという意見が半数以上を占めました。一方で、支援機関と企業側の回答からは「課題が複雑化・複合化しており対応が難しい」「介護休業の制度を、企業が正しく認識できていない」といった問題が見えて

きました。ケアラー支援に関する認知度を向上させるとともに、サポートする側の人材育成も課題となっています。県は調査結果を踏まえ、これまでに「家族の問題」として捉えられてきた介護を、「社会全体の問題」として全面的にバックアップする環境を整えようと動き出しています。



4人に1人が
ケアラー
その3割は
複数人をケア

まずは 相談することが 大事

県は2024年7月からケアラー支援推進本部を設置して、「介護離職ゼロ」の実現を目指しています。同年8月には、仕事と介護の両立支援に向けた最初のステップとしてビジネスケアラーセミナーを開催しました。

セミナーで講師を務めた株式会社チェンジウェーブグループ（東京都港区）取締役の酒井穰さんは、自身の30年にわたる介護経験から「介護のプロに相談すること」の大事さを訴えました。

「仕事と介護の両立は突然はじまり、時間とともに負担が上がるケースがほとんどです。一般論として介護業界では、地域包括支援センターに相談すれば、介護の問題の6割が解決するともいわれています。しかも介護保険制度の改正は3年ごとにあるので介護サービスの内容がどんどん変わっており、個人で全てを把握するのは難しい。まずは介護問題のプロがいる地域包括支援センターへ相談することが大切です」

また、介護にはお金がかかるため、簡単に仕事を辞めることを考えないでほしいと訴えます。仕事と両立できる介護時間の目安は「平日2時間、休日5時間※」だといわれているため、これ以上の時間を介護に取られると離職につながりやすいので注意してほしいと述

べました。

「入浴介助などは素人がやると危険な場合もあります。身体介護は可能な範囲で介護のプロに任せましょう。そもそも介護とは“生きていてよかった”という瞬間の創造です。家族の会話を増やしたり、外食に連れ出したりするなど、家族にしかできない精神的なケアを優先してください」

特に高齢者の介護は早期発見、早期対応が原則です。少しでもおかしいと感じたら先延ばしせずに相談して、地域包括支援センターやケアマネジャーと連携することが普段の生活を守る鍵になります。

※力石啓史「仕事と介護の両立と介護離職に関する調査結果」生活福祉研究通巻 89 号



2024年8月に開催された「ビジネスケアラーセミナー」



困ったときに頼れる 「ケアラー支援推進員」を養成

県は、自分がケアラーという自覚がない人や、一人で問題を抱え込んでいる人を取りこぼさないために、対面で支援情報の普及啓発を行う「ケアラー支援推進員」の人材育成事業を進めます。ケアラー支援推進員は地域に根付いた企業や金融機関など、業務として日常的に住民と接している方を対象に育成します。普段のコミュニケーションを通して、「ケアが必要の人」だけでなく、「近い将来

ケアが必要になる人」や「その家族」に適切なアプローチをします。ケアラー支援推進員には①介護リテラシーの向上②認知症のサポート③ケアラー支援ポータルサイトの活用方法の三つの研修項目を受講してもらいます。地域包括支援センターなどの支援機関にスムーズにつながることで、ケアラーの孤立化を防ぎ、地域で支援する体制を広げます。

県の施策は？
実態調査から浮かび上がったケアラーの問題を解決するために、県はさまざまな施策をパッケージ化して、進めようとしています。



ケアラー支援推進パッケージ

対象	事業名	施策の内容
つなぐ	県民 ボッドキャストを活用した相談・支援継続促進事業	介護やひきこもり等困難な問題を抱える人を周囲への相談や適切な支援につなげるため、安心して悩みや思いを発信できるボッドキャスト番組を配信。
	教育機関 スクールソーシャルワーカー養成事業	不登校や家族の介護等の課題を抱える児童生徒などに対する支援体制を強化するため、スクールソーシャルワーカー増員に向けた研修会を開催。
支える	県民 ケアラー相談支援強化事業	ケアラーからの相談に対する支援体制を強化するため、介護支援専門員や保健師などの専門職による土日、祝日対応の電話相談窓口を設置。
	県民 ケアラー交流支援事業	ケアラーの孤独・孤立を防ぐため、悩みの共有や情報交換を行う交流会などを開催。
	支援機関・市町村 ケアラー支援機関連携強化促進事業	複雑化・複合化するケアラーの課題に対応するため、支援機関の対応力強化と連携促進に向けた研修会を開催。



経営者らの意識改革で、 介護しやすい職場に

2024年3月末時点で県内の要介護・要支援認定者数は約4万2千人。働きながらケアをするビジネスケアラーが22年時点で62・1%を占めており、全国平均（58・0%）を上回りました。県民の皆さんが介護で自分のキャリアやライフプランを諦めてしまうことのないよう、まずは企業がケアラーについての正しい知識を持ち、介護休業制度の整備や業務改善など、働きやすい職場環境をつ

くることが重要です。県は「仕事と介護の両立」を支援する事業として、県内企業を対象とした①経営者・管理職へのセミナー②従業員向けの介護情報を掲載したハートブックの作成③人事・総務担当者が介護への理解を深める勉強会の開催に取り組みます。「仕事と介護が両立できる職場」のモデルケースをつくり、増やすことで介護離職を防ぐことを目的としています。

世界遺産の保全と観光

富士山は日本の象徴として、古くから信仰の対象や芸術のモチーフとして大切にされてきました。

2013年、世界文化遺産に登録されたことで

国際的知名度も高まり、

国内外から多くの登山者が訪れています。

一方で、世界遺産の保護・保全、モニタリングを行う

イコモス（ユネスコの諮問機関）からは、

来訪者が多すぎる、環境負荷が大きい、といった

課題も指摘されています。

山梨県は、急増する登山者に対応する

施策を実施するとともに、

魅力ある新たな富士登山の在り方を発信していきます。

「特集3」

富士登山規制の 新たな取り組み

県は、富士山の保全と安全な登山環境の実現を目指し、登山規制を段階的に強化してきました。2025年度からは、いくつかの重要な変更が行われます。

まず、**ゲートの閉鎖時間を16時から14時に前倒しします**。閉鎖時間を2時間早めることで、山小屋に泊まらず夜通しで一気に山頂を目指す弾丸登山の防止に努めます。

次に、富士山吉田口通行予約システムを改良します。日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）に加え、韓国語とベトナム語を追加しました。決済方法も増やし、従

来のクレジットカード、Alipay、

WeChat Payに加えてPayPay

も利用可能となりました。さらに、

予約状況がカレンダー形式で視覚

化され、日付ごとの空き状況が一

目で分かるようになりました。予

約後の日付変更機能も追加し、予

約変更にも柔軟に対応できるよう

にしました。国内外からのスミ

ズな予約手続きの実現により、登

山者の利便性向上が図られます。

また、安全対策として、登山に

必要な装備の確認と富士登山ル

ール遵守の誓約を追加しました。こ

れにより、弾丸登山や軽装登山の

抑制が期待できます。

加えて、山梨県富士山レンジャ

ーに関する規則を改正し、レンジ

ャーの指導についての法的権限を

明示することで、五合目での登山

指導体制を強化します。

これらの登山者の利益となる対

策費用については、登山者自身にこ

負担いただくことが原則だと考え

ます。そこで、**富士山保全協力金**

と通行料を一本化し、通行料を

4,000円に変更します。通行

料は、安全な登山環境の整備や世

界の宝である富士山を守る費用に

その全額を活用します。

新たに定めた 誓約事項

誓約事項に同意いただけない場合、ゲート通過することができません。通行料をお支払いいただく際に、登山に必要な装備の確認と遵守事項に誓約していただきます。登山に必要な装備として、防寒着、セパレータイプの雨具、登山に適した靴が必要になります。また、山小屋に宿泊せず夜間に登山をしない（弾丸登山をしない）、登山道を外れて歩かない、ゴミは必ず持ち帰るといった事項に同意いただくことでゲートの通過が可能となります。

こう変わる 予約システムも改善

2025年度から富士山吉田ルート of 通行予約システムが改善され、より使いやすく、多様なニーズに対応できるようになりました。主な変更点を2024年度と比較しながらご紹介します。

項目	2024年度	2025年度
軽装登山対策	—	登山に必要な装備の確認と遵守事項を誓約させる機能を追加
対応言語	日・英・中（簡／繁）	日・英・中（簡／繁）・韓国語・ベトナム語
決済方法	クレジットカード・Alipay・WeChat Pay	クレジットカード・Alipay・WeChat Pay・PayPay
予約状況（残数）	別のホームページ（富士登山公式サイト）で案内	予約状況を日付選択画面（カレンダー）に○△×でわかりやすく表示
予約（事前決済）	前日まで	当日も可能
予約のキャンセル	不可	可能 ※決済日の翌日まで
予約日の変更	不可	可能 ※予約日の前日まで
金額	2,000円 ※他に富士山保全協力金 計1,000円	4,000円

古の富士登山の復活を目指す！

世界文化遺産富士山の雄大な姿は、古来より人々を魅了し、信仰と登山の対象として日本の文化に深く根付いてきました。近年、五合目からの登山が主流となる中、忘れられつつある「古の富士登山」の魅力に改めて光を当て、その復活を目指すという動きが高まっています。

古の富士登山とは、麓の町や村から山頂を目指す登山スタイルです。長い道のりを一步一步踏みしめ、自然の厳しさや美しさ、そして歴史の重みを感じながら登る、奥深い体験ができます。

かつて富士登山は、信仰と深く結び付いたものでした。富士講信者は、富士山を霊峰として仰ぎ、麓の神社で安全祈願をしてから登山を開始します。登山道沿いには、多くの神社や祠などが点在し、登山者たちはそこで祈りを捧げ、霊峰富士への畏敬の念を深めました。吉田口登山道には、特に多くの神



「胎内祭」は、吉田胎内本穴を管理する北口御師団が主催し、毎年4月29日に行われます。普段は一般公開されていない秘められた世界遺産富士山の構成資産・吉田胎内樹形が唯一公開されます。

中にあります。洞窟は「溶岩樹型」と呼ばれる稀少な地質現象で、世界でも富士山とハワイ島だけに存在します。

吉田胎内樹型は10世紀に、富士山噴火の際に流出した溶岩流の東端に形成されたものです。いくつもの樹木が重なり合って複雑な樹型を作り、その形が女性の胎内に例えられたことから胎内信仰につながりました。

「胎内巡り」を行う富士講信者は「御胎内」を訪れ、洞内を巡って身を清め、その後、富士講の宿坊である御師住宅に戻って翌日の登拝に備えます。この行為は「生まれ変わり」の儀式として大変重要な

社や祠が残されており、「古の富士登山」を体験することで、当時の巡礼者たちの思いに触れることができます。

代表的な信仰の場として、北麓の船津胎内や吉田胎内が挙げられます。これらは溶岩洞穴であり、かつては胎内潜という修行があり



ものでした。

胎内潜りを終えた信者に対して御師はオマクリを振るい、「無事に生まれることができ、おめでとうございます」と声を掛けたとい

います。オマクリとは、新生児への初授乳の前に「胎毒おろし」のためにマクリ（海人草）などを煎じた飲み物のことです。また、胎内は子安神として安産祈願の場

にもなりました。乳房状の岩から滴る水を鉢や紙で受け、それを腰帯や守りとしたのでした。

4月29日に行われる吉田胎内祭

ました。母胎回帰の思想に基づくもので、暗闇の中、狭い洞穴はい進み、生まれ変わりを体験すると伝えられています。胎内潜は、富士登山における重要な修行の一つであり、当時の信仰の深さを物語っています。

「胎内道」と呼ばれる道は、胎内樹型という溶岩洞窟を通る道筋でした。この溶岩洞窟は約1000年前に八合目付近から流れ出た「剣丸尾溶岩流」の上にできた森の

は、この古くからの胎内信仰が現代にも伝わる貴重なものです。地元の人々によって守られてきた吉田胎内の文化的価値を体験することができます。

かつての富士登山は、単なるレジャーではなく、心身を清め生まれ変わる神聖な行為でした。このような登山道の復活は、現代の私たちに富士山の持つ文化的・精神的価値を再認識させるものです。麓からゆっくりと登る古の道をたどることで、新たな富士山の魅力に触れることができるでしょう。

河口浅間神社 孫見祭

稚児の舞

「河口の稚児の舞」は河口浅間神社の祭礼で奉納される少女たちによる神楽です。富士山信仰と関連する太々神楽の神子舞の流れを汲み、近世から現代までの変遷が追える貴重な事例として重要です。この舞は「オイチーサン」と呼ばれる少女たちにより、孫見祭（4月25日）と太々御神楽祭（7月28日）に奉納されます。演目は五番あり、特徴的な衣装と古風な舞振り、独特な足運び、本殿への回廊を巡る動きなどに特色があります。



オイチーサンが
可憐に舞います



「本穴」の傍らには、「吉田胎内溶岩樹形第1」がある。胎内祭の神事の後、一般参加者も本穴を潜り（右下の写真）、石祠に行きあたる。



ふれあい マンスリー 創刊!

“旬”のやまなしをお届けします

日曜日の新聞朝刊に折り込まれていた「広報紙ふれあいマンスリー」をお手にとっていただけでしょうか。山梨県は、「県民の皆さんにもっと山梨を知ってほしい」という強い思いから、月刊の広報紙を5月に創刊しました。

創刊号は水素!

創刊号の巻頭特集に取り上げたのは、「水素」です。
なぜ山梨県が、これほど水素の生産や普及に力を入れているのだろうと不思議に思う県民の皆さんも多いと思います。そのきっかけに始まり、いまや「世界をリード

する」とまで言われるようになっていきさつを詳しく紹介しています。脱炭素社会の実現に向けた山梨県の取り組みを理解していただく一助になればと思います。
県からのお知らせは、「今月のトピックス」というコーナーに、

見やすいレイアウトでまとめました。県政のタイムリーなニュースも紹介しています。
そして、「マンスリー」の注目は最終ページの連載です。
「あっちこっち山梨」は、昨年のNHK大河ドラマ「光る君へ」で乙丸役を演じた矢部太郎さんと、移住して長年山梨に住んでいるス

大きなサイズで読みやすい



創刊号の表紙は、県を支える仲間たちの写真で山梨県の形を描きました。



6月号の巻頭特集は、ビームプロデュースの道の駅プロジェクトを中心とした、南山梨のブランド化を取り上げました。

ポーツDJの高杉・J・二郎さんのお二人が軽妙な掛け合いを展開します。太郎さんが毎月描き下ろすイラストも楽しみです。
県内企業の課長さんによる「キニナル課長の行きつけ」。本当は秘密にしておきたい美味しいお店や、心を癒やしてくれるスポットなどを紹介していただきます。
読者プレゼントもありますので、どしどし応募ください。
季刊の「ふれあい」だけで十分では？
そんな疑問もあるかもしれません。しかし、すさまじいスピードで動く現代社会にあって、よりタイムリーに情報提供していくためには、月ごとにアップデートされたお知らせを必要を感じてきました。

なっても、わかりやすく、役に立つ。そんな広報を目指していきます。
「ふれあいマンスリー」は、各戸にお届けしている「ふれあい」と違って新聞折り込みのため、お手元に届かない方もいらつしやいます。そんな方は、ぜひ県のホームページでご覧ください。市町村の窓口で入手することもできます。

注目の企画!
「あっちこっち山梨」



矢部太郎さんと高杉J'二郎さんのお二人が軽妙に掛け合いながら、山梨の魅力を語ります。イラストは矢部さんが毎月書き下ろします。



ふれあいマンスリー
(電子版)は
こちらから

未来を
懸命に志す
県民インタビュー

「連載」

山梨 懸人

大切な兄の存在

ある日、家出したはずの3歳上の兄がこっそり自宅に帰ってきた。当時、小学生だった赤池侑馬さんは、笑顔で兄を迎え入れた。

「中学生だった兄は、酒にタバコ、ケンカと、大人たちから見ると非行少年でした。でも、僕の視点は違っていた。兄は頭もよかったし、運動もできた。何より、本当はすぐくピュアな心を持っていた」

そんな兄が、バイクで事故を起こした。およそ2週間、意識が戻らない日が続いた。ようやく目を覚

KEIPE HISTORY

ました兄には、障害が残った。

「それからは、家族がぐちゃぐちゃになりましたね」

16年近く、兄の療養生活は続いた。赤池さんは、以前に兄が漏らした言葉を思い出した。

「侑馬みたいな先生がいたらよかったのに」

KEIPE HISTORY

障害者就労支援は、障害や病気のために一般企業や事業所での就労が困難な人々を対象とした支援。一般的に、「就労継続支援A型・B型」と呼ばれる。A型は事業所と雇用契約を結んだ上で働き、B型は雇用契約を結ばず、障害や体調にあわせて自分のペースで働きながら、就労に必要なスキルなどを習得する。

HISTORY

1990
中巨摩郡昭和町生まれ

2013
千葉大学教育学部卒業後、教師に

2014
ベンチャー企業に転職

2017
KEIPE株式会社を創業

2018
結核を発症し、1年間の療養生活。退院後、「KEIPEを主軸に活動していこう」と誓う

障害を特別なものにし ない社会に

ケイイブ
KEIPE株式会社代表取締役

赤池侑馬

大学卒業後、教師になるが1年でIT企業に転職。海外で新規事業の立ち上げにも関わった。20代を疾走した男性が、ふるさと山梨に戻り、障害者就労支援事業所を運営している。未来に向け、懸命に生きる県民を紹介する連載「山梨懸人。障害を特別なものにせず、誰もがそこに居ていい社会」をビジョンに掲げる。障害者支援に自然体で向き合う男性の半生の物語。



KEIPEは「万物を成長させるめぐみの風」という意味を持つ「恵風(ケイフウ)」から名付けた

2013年、赤池さんは千葉大学を卒業し、教師となった。

ところが、教鞭をとるうちに「40歳までに稼いで自分の理想の学校をつくりたい」と思うようになり、1年で教員を辞した。その後、起業について学ぶため、IT系ベンチャー企業に転職した。

それからは、怒涛の日々を過ごした。平日昼間は会社の業務をこなし、夜は多くの起業家らと会食

土日は副業で訪問販売の仕事も始めた。2015年には、新規事業立ち上げのためにタイにも赴任した。忙しさのあまり「40歳で学校」の夢は忘れつつあった。

長所に光を当てて

「障害者就労支援事業を始めないか」——忙しい毎日を送る中、そんな声がかかった。

「ふと、兄のことを思い出したんです。まるで、導かれているような気がしました」

2017年には別の事業を続けながら、自身で障害者就労支援事業を故郷の山梨県で立ち上げた。現在のKEIPEだ。

しかし、創業1年目で赤池さんに大きな壁が立ちちはだかる。「どんな人がやめてしまっても、当時の離職率は83%でした」売上も芳しくなかった。「障害者施設だから」と、相場より安く発注する会社もあった。

赤池さんは、そんな世間の風潮をなんとかしたいと一層仕事に奔走した。しかし、暗転する事態が起きた。激しい胸の痛み。動くことも困難になり、救急外来を受診

した。

「結核でした。それも、かなり悪い状態で……」

それからは、1カ月半の入院と1年の療養生活を余儀なくされた。しかし、この体験が自分の人生を見つめ直すきっかけとなった。

「今後は自分がやりたいことに注力しようと思ったんです。それは、兄のような人に、仕事を通じて社会復帰してもらうこと。つまり、KEIPEの活動だったんです」

退院後、赤池さんは従業員を前に「障害を特別なものにせず、誰もがそこに居ていい社会にしたい」と涙ながらに思いを伝えた。

2025年現在、KEIPEは飲食・商社事業にも裾野を広げ、年商10億に届く勢いだ。グループ全体で約140人のスタッフが働き、障害を持つ人は90人ほどいる。データ入力、デザイン、飲食店勤務など、能力や希望に応じて多様な業務に携わってもらっている。

KEIPEの特色は、地域との関わりを大切にしている点だ。事業所も街の中心に置いた。そこで働く障害者の送迎もあえてしない。一緒に働く仲間として、会社にも



企業理念を記した「KEIPE BOOK」は、ver.3.0まで版を重ねている

街にも溶け込んでもらいたいと願っている。

「KEIPEは、カンパニーではなくてコミュニティ」。そんな言葉に、赤池さんの障害者支援に対する価値観がにじむ。

「実は、会社を立ち上げた頃から、兄も回復しはじめたんです」

現在は5人の子どもを育てるお父さんだという。

「やっぱり、僕が見ていたピュアな兄が本当の姿だった。だから、KEIPEは長所に光を当てる場所でありたい」

赤池さんは力強く語った。

甲府市丸の内にある KEIPE 甲府オフィスで仲間たちとともに

プライベートは、妻と2男1女の5人家族。サウナや焚き火を愛するアウトドア派だ

表紙のヒトたち。



デジタル技術を “普段使い”に

山梨県は、全ての県民がデジタル技術を“普段使い”できる社会を目指しています。「DXリーダー」の梨大生、さっちさん(写真左)は「実際に企業とかかわり、『社会人ゼロ年目』のような経験ができました」と語ります。中学生のあつきさんは「建築士やITエンジニアになりたい」と将来の夢を話しました。

やまなしの魅力は もっともっとあるはず！

「ふれあいスクエア」では、県民の皆さんからの写真を募集しています。わが街の自慢のスポット、不思議と心躍る場所、移ろう季節を切り取った一枚……など、撮影したときのエピソードを添えて、ぜひ教えてください。また、県の取り組みについてのご質問もお待ちしております。

こちらから
どうぞ！



山梨県公式
LINEアカウント

友だち登録すると
写真を投稿できます。

風来坊



高校生たちの「風林火山」

信玄公祭りの一環で行われた高校生による書道パフォーマンス。風林火山の力強い文字がお見事でした。

アザラシの赤ちゃん？



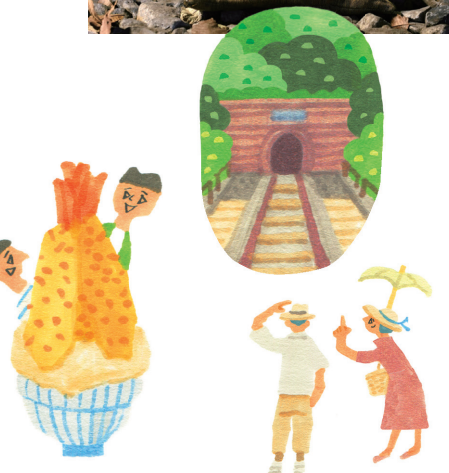
夏もひんやり

甲州市にある大日影トンネル。かつてはJR中央本線のトンネルでしたが、現在は遊歩道として一般開放されています。レンガ造りのトンネルは夏でもひんやり。

飛び出すエビフライ

道の駅なんぶ(南部町)で食べられる、期間限定デカ盛りメニュー。大ぶりのエビとタルタルソースがおいしすぎて、お腹パンパン！

5月の風



ゆづあん

波がざばーん！

北杜市にあるリゾナーレハケ岳(星野リゾート)に遊びに行きました。大きな波の出るプールに子供が大はしゃぎ！また行きたいねと言っています。



うさぎち



信玄公にうっとり

4月に甲府市で開催された信玄公祭りはたくさんの人でにぎわっていました。信玄公役の紫吹淳さんと、勘介役の優ひかるさんが凛々しく素敵でした。



MUREAI
SQUARE

ふれあい
スクエア



PHOTO SPACE

あなたが撮った写真を「ふれあい」に掲載しませんか？皆さんのとっておきの1枚、お待ちしております！



サクラサク

散歩中、甲府市の小瀬スポーツ公園の桜が満開で足を止めました。たまたま写真好きな方に声を掛けられ、撮ってもらった1枚です。春は素敵な出会いがありますね。



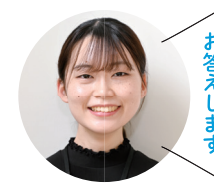
こせっこ

Q & A SPACE

皆さんから寄せられた県政に関する疑問・質問にお答えするこのコーナー。今号の質問は、こちらです。

Q「プレコン健診」について 教えて下さい。

将来の妊娠・出産に備えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」の考えに基づいて行う健康診断のことです。



子育て・次世代サポート課
主事

菅野 れな

Q 健診の対象は？

18歳～39歳の女性が対象です。血液検査で貧血や甲状腺機能、感染症、卵子の残数などが反映される卵巣予備能力をみるAMH検査など、妊娠や出産にかかわる項目を調べることができます。昨年度は1481人が受診しました。県はプレコンの啓発活動を進め、今年度の受診者数2000人を目標としています。



必要に応じて、医師への相談も可能です

Q どこで受けられますか？

職場の健康診断または県が提携する医療機関において受けられます。なお、プレコン健診を受けるためには、事前にeラーニングでのプレコンセミナーを受講していただく必要があります。



昨年8月に開催されたプレコン啓発セミナーの様子

Q 男性は関係ないのですか？

プレコンセプションケアは男性にも必要な知識です。妊娠や出産は女性だけの問題でなく、男女を問わず性と健康に関する正しい知識や情報を持つことが大切です。健診の対象は女性のみですが、プレコンセミナーは男性も受講ができます。ぜひ参加してみてください。



プレコン健診の
情報HP

ブランド価値向上

山梨のブランド価値
向上に向けて
クリエイティブ
プロデューサー委嘱
水素キャラクターを披露

県は、山梨のブランド価値向上や県政の認知向上に向けた助言などを行う「山梨県クリエイティブプロデューサー」に、県内在住のデザイナー中野シロウさんを委嘱しました。

中野さんは、これまで日清チキンラーメンの「ひよこちゃん」などのキャラクターデザインや企業の商品プロデュースを数多く手掛けています。

4月10日にあった委嘱式では、水素エネルギー分野のトップランナーである本県の取り組みを発信するシンボルとして、中野さんが考案した水素キャラクターが披露されました。中野さんは「このキャラクターがたくさんの方に長く愛され、山梨の水素技術が世界中に普及していくことを期待しています」と述べました。今後、米倉山次世代エネルギーPR施設「きらっと」（甲府市）などで幅広く活用していく予定です。

委嘱式で長崎知事は「中野さんのお力を借りながら、山梨県をもっと面白く、もっと魅力的な場所にしていきたい」とあいさつしました。



披露された水素キャラクター
「水素のスイチョ」
© YAMANASHI/nakanogumi



長崎知事（左）
と委嘱状を手に
する中野さん

G X 推進

脱炭素社会の
実現に向けて
新たな組織を設立

グリーントランスフォーメーション（GX）の取り組みを県内中小企業で進めてもらうことを目指し、県は4月17日、金融機関や商工団体、設備工事事業団体をメンバーとした、やまなしGX推進コンソーシアムを設立しました。

GXとは化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを使っていく社会や経済に変えていくための取り組みのことです。

これまで中小企業では、資金や人材、情報不足などが原因でGXが進んでいませんでした。関係団体の人材やノウハウ不足などにより中小企業への支援が難しいことも要因となっています。

今回、新たに設立した組織は、関係団体が連携し、それぞれが持つ知恵と力を結集します。中小企業のGXを支援する専門人材の育成や企業の個別ニーズに応じた支援を行っていきます。

県は、今後コンソーシアムを中心にGXを加速させ、地域の脱炭素化と県内経済の活性化の両立を目指していきます。



長崎知事（前段左から5人目）とコンソーシアムを構成するメンバー

官民連携

地域課題解決で
官民がタッグ
センターを設立

設立セレモニーに臨む長崎知事と山梨中央銀行
の古屋頭取（左）、センターの大久保理事長（右）



人口減少や少子高齢化などにより、地域課題は多様化、複雑化しています。県と山梨中央銀行は4月1日、地域課題を官民連携で解決する（一社）やまなしソーシャルイノベーションセンターを甲府法人会館（甲府市）内に設立しました。

本県には、交通弱者対策や中小企業の人材確保などの課題があります。こうした課題には行政だけでなく、民間事業者のデジタル技術や独自のノウハウを活用することが重要です。行政と民間が課題やアイデアを共有し、新たなビジネスを作り上げる支援を行っていきます。センターに派遣された県と山梨中央銀行の職員が、それぞれのノウハウやネットワークを最大限に活用し、地域課題の解決と新たなビジネス創出による地域経済の発展を実現します。

子どもの
ゲーム内課金に注意

子どもが無断でオンラインゲームに課金してしまったという保護者からの相談が多く寄せられています。トラブルに遭わないために、事前に対策をしましょう。

- スマートフォンのアカウント設定や決済時の承認設定を確認しましょう。
- 子どもが利用する情報通信機器を保護者が管理する「ペアレンタルコントロール」機能も活用しましょう。
- 子どもが遊ぶゲームの課金の仕組みを確認しましょう。
- ゲーム課金のルールを子どもと一緒に決めましょう。

困ったら下記にご相談ください。

山梨県県民生活センター

☎ 055-235-8455

消費者ホットライン

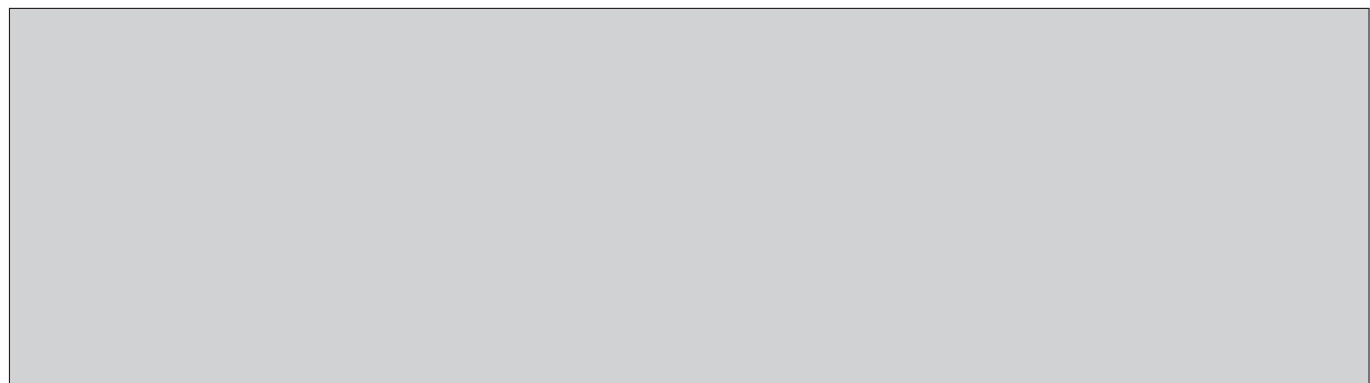
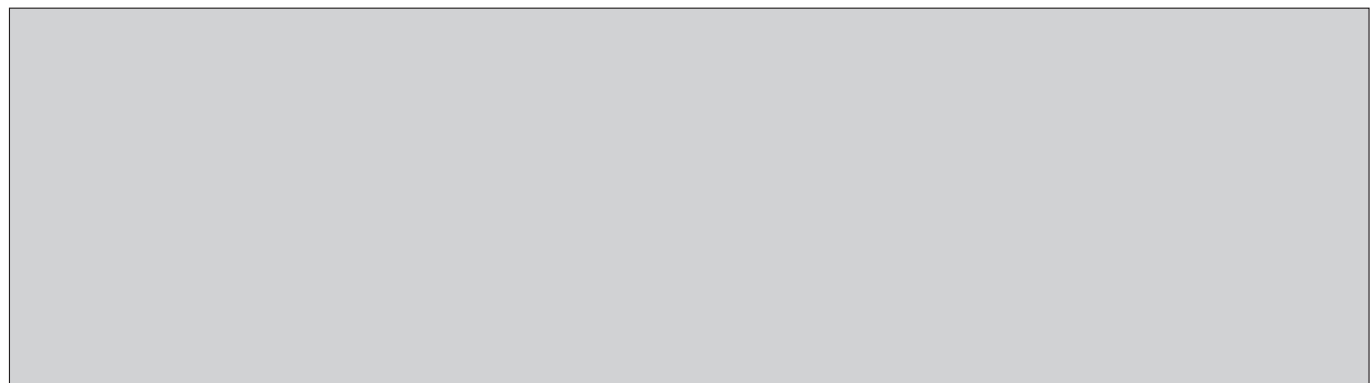
☎ 188（いやや）※全国共通

（最寄りの市町村や県の消費生活相談窓口をご案内します）



県民生活センターでは、ホームページなどで消費者トラブルを未然に防ぐための情報を発信しています。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





商品提供：いちやまマート

山梨県産 桃の果汁 100%ジュース ノモン 6本セット

ふれあいは
英語と中国語でも
読めます。

FUREAI is also available in
English and Chinese.
FUREAI 还有英文和中文版。



県政情報発信中

富士山レンジャー
SNS山梨県が
良すぎるやまなし
in depth
やまなし
in depthHIGH
QUALITY
YAMANASHI
ハイクオリティ
やまなしLINE
山梨県
公式LINE

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

読者プレゼント

抽選で
5名

アンケートに 答えて応募しよう!

次の①～⑤とアンケートにご回答ください。
応募は「はがき」または「応募フォーム」でお願いします。

① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 年齢 ⑤ 電話番号

※応募は1人1回限り。

アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容とその理由は?

問2: 今後、デジタル化したらいいと思うもの・ことを
教えてください!

※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

応募先

山梨県広聴広報グループ
「ふれあい読者プレゼント」係
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1



応募フォームはこちら

<https://forms.office.com/r/HryXssXRz7>

締め切り **7月31日(木)** 当日消印有効

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、
使用させていただくことがあります。

「おいしい未来へ やまなし」については、
県ホームページをご覧ください。

おいしい未来へ やまなし

検索